



株式会社

ドン・キホーテ

Don Quijote Co., Ltd.



2006 年1月 15 日

各位

会 社 名：株 式 会 社 ド ン ・ キ ホ ー テ
代 表 者 名：代 表 取 締 役 社 長 成 沢 潤 治
コード番号：7532 東京証券取引所第一部
情報開示責任者：専 務 取 締 役 高 橋 光 夫

ドン・キホーテ、オリジン東秀株式に対する公開買付けを実施

総合ディスカウントストアの株式会社ドン・キホーテ（東証1部:7532、以下、ドン・キホーテ）は本日、オリジン東秀株式会社（東証2部: 7579、以下、オリジン東秀）の普通株式に対する公開買付けの実施を決定しましたので、お知らせいたします。

公開買付期間は、本年1月16日より2月9日までの25日間です。ドン・キホーテはオリジン東秀の普通株式を1株あたり2,800円で買付けいたします。これは、オリジン東秀株式の1月13日の終値に対し約19.7%、過去3ヶ月間（平成17年10月14日から平成18年1月13日まで）の終値の平均に対し約41.9%のプレミアムを加えた金額に相当いたします。今回の公開買付けにおいては応募株券の総数が買付予定数（437,300株）に満たないときは、応募株券の全部の買付けを行わず、また、買付予定総数（3,580,900株）を超えるときは、その超える部分の買付けは行わず、あん分比例方式により買付けいたします。なお、1月15日現在、ドン・キホーテはオリジン東秀の発行済株式の約11.88%（2,097,700株）を単独で、特別関係者と合計すると約30.92%（5,461,398株）を所有しております。

ドン・キホーテは、主力業態の大型店「ドン・キホーテ」、複合商業施設「パウ」、小型店「ピカソ」という3タイプの店舗名で深夜営業のディスカウントストア事業を展開しております。ドン・キホーテは、中食業界の優良企業であるオリジン東秀と事業提携することにより、お客さまからの要請に応え、その企業価値を高めるために必要であると従来から認識していた、弁当・惣菜・おにぎりなど、いわゆる「中食」のラインナップを有し、お客さまの利便性の追求、低価格での商品提供の実現等をコンセプトとする次世代型のコンビニエンス・ストアの事業化が可能となると考えております。

一方、オリジン東秀にとっても、「ピカソ」と「オリジン弁当」の価値を融合させた出店により、単独出店の場合と比較して出店に要する費用の削減とリスクの限定が可能となるほか、「ピカソ」の集客力を活かすこともでき、また弁当調理の待ち時間も店舗内での買い物にご利用いただけるなど、この事業提携はオリジン東秀の店舗価値の増加に大いに貢献するものと考えております。加えて、ドン・キホーテのノウハウ、情報及び技術などの提供、オリジン東秀とのノウハウ等の共有化を行うことなどにより、売上高及び出店数のいずれについても、オリジン東秀が中期経営計画にて公表している「2008年度（平成21年3月期）に年商1,000億円、1,000店舗」という目標の達成可能性を高められると考えております。なお、オリジン東秀では既に24時間営業による店舗展開を行っているなど、営業時間に関してもドン・キホーテと合致した経営方針を有しており、共同で店舗を展開していく上での親和性も高いと認められます。また、オリジン東秀の創業者である安澤英雄氏（故人）が掲げられて以来、オリジン東秀に引き継がれている『食』を通じた『健康創造企業』の実現と豊かな生活づくりに貢献する』という経営姿勢は、まさにドン・キホーテが次世代型コンビニエンス・ストア事業で目指す「食」の位置づけとして理想とする経営方針に合致するものです。



株式会社

ドン・キホーテ

Don Quijote Co., Ltd.



このような背景から、ドン・キホーテは、平成 17 年8月にその代表取締役社長（現会長）とともに、オリジン東秀の創業者のご遺族から発行済株式総数の 23.62%（ドン・キホーテ単独では、約 8.63%）に相当する株式を取得し、前記のような互いに相乗効果を得ることのできる事業提携の実現を目指してまいりました。両者を取り巻く市場において、次世代型コンビニエンス・ストアを事業化し、競争に打ち勝つうえで重要なことは、スピードをもって相当数の店舗を展開していくことであります。また、優良な立地への出店の機会を確保するという観点からもスピードが重要となります。しかし、これまでの両者の提携は、「ピカソ」内に「オリジン弁当」がテナントとして出店する形態にとどまっており、次世代型コンビニエンス・ストアの出店に目処が立っていないなど、両者の事業提携を成功に導く上で必要な条件であるスピードが不足していると言わざるを得ない状況であります。ドン・キホーテは、両者の事業提携が十分な成果を挙げるためには、オリジン東秀の経営陣との協力のもと、事業提携の内容を具体化していくスピードを早めるための体制を構築することが必要であると考えております。そこで、オリジン東秀の事業パートナーであり、大株主でもあるドン・キホーテは、オリジン東秀の中期経営計画の達成可能性を高めるためにも、熟慮した結果、両者の事業提携の強化に向け、取締役の派遣などを含めて、オリジン東秀の経営へのコミットメントを高めることを選択し、公開買付けの実施を決定いたしました。

ドン・キホーテ代表取締役会長の安田隆夫は以下のようにコメントしています。

「当社は『お客さま第一主義』という企業原理のもと、次世代型コンビニエンス・ストアを事業化し、スピード感をもって事業展開していくことを目指しております。創業者が掲げられた経営姿勢を貫かれているオリジン東秀は、次世代型コンビニエンス・ストアの事業化に向けた最高のパートナーであると考えております。公開買付けの実施を通じてオリジン東秀の経営へのコミットメントを高めることにより、両者の事業提携を強化するとともに、両者の企業価値の向上を目指してまいります所存です」。

ドン・キホーテについて（東証1部: 7532）

総合ディスカウントストア大手。「お客さま第一主義」を企業原理に、独創的な店舗スタイルを構築し、商圈規模や立地特性に合わせて「ドン・キホーテ」、「パウ」、「ピカソ」という3タイプの店舗名で全国展開を推進。現在、店舗数は 115 店舗。従業員数は連結ベースで約 1,800 名。

オリジン東秀について（東証2部: 7579）

東京、神奈川を中心に弁当店を展開。お客さまに「楽しさ」「豊かさ」「快適さ」を提案しながら、お持ち帰り惣菜・弁当店「オリジン弁当」を経営、「食」を通じた「健康創造企業」の実現と豊かな生活づくりを目指している。平成 17 年9月 30 日現在、店舗数は 633 店舗。従業員数は連結ベースで約 500 名。

公開買付手続について

公開買付手続の詳細については、ビー・エヌ・ピー・パriba証券会社東京支店（専用ダイヤル 03-5290-1097/1098/1099）にお問い合わせ下さい。

<本件に関するお問合せ先>

株式会社ドン・キホーテ	専務取締役： 高橋光夫	【電 話】 03-5381-7588
ギャビン・アンダーソン	担当： 加藤、服部	【電 話】 03-5404-0640